

仙台南部地区特別支援学校整備事業に対して提出された県民意見の反映状況について

宮 城 県

標記事業を対象として行った大規模事業評価において、提出のあった意見の概要及びその反映状況は、以下のとおりです。

記

- 1 意見募集期間
平成30年7月17日（火）～平成30年8月15日（水） [30日間]
- 2 意見提出件数
4件
- 3 意見の整理の考え方
—
- 4 提出された意見の概要及び反映状況

意 見 の 概 要	意見の反映状況
<p>1 本県はこれまでも狭隘化対策として様々な事業に取り組んでおりますが、各特別支援学校の分教室に在籍する保護者の意見の中には、「高等部になればまた狭い環境に戻る。」というものもあります。小・中・高そして高等学園的機能をも含む学校設置は、狭隘化の問題を解決する上で非常にメリットがある事業と考えます。</p> <p>2 旧拓桃支援学校は、開校当時より、崇高な理念が地域住民に理解され、快く設置されたと捉えております。そのような地域に県民の為になる特別支援学校を設置することは、非常に理にかなっていると考えます。</p> <p>3 日本に名だたる秋保温泉は学校と企業の連携による実践的職業教育の実践に取り組みやすい環境にあると考えます。この地は、温泉旅館業、ワイン製造業、六次化産業、無農薬栽培の農業等豊富な地域資源がありますので、本事業の推進は最適な土地と考えます。学校、企業が共に知恵を出し合うことで、生徒の可能性を更に引き出すとともに、即戦力として卒業生を送り出すことができると考えます。</p> <p>4 教育環境の整備、職業教育の充実等により、本県の特別支援教育の更なる推進が図られていくことに大きな期待を寄せています。</p>	<p>1 新設校においては、小・中・高等部に必要な教室数を整備し、系統的・計画的に一貫した指導を進めてまいります。</p> <p>2 旧拓桃支援学校のつながりを継承し、開校後は、地元の方々と理念を共有しながら、地域とともに学校づくりを進めてまいります。</p> <p>3 学校と地域の企業が連携しながら職業教育の充実を図り、生徒が卒業した後も自立した社会生活を送ることができるよう、人材の育成を目指してまいります。</p> <p>4 本整備事業に加え、「宮城県特別支援教育将来構想」及び「第2期県立特別支援学校教育環境整備計画」に基づき、ソフト面とハード面の両面から本県の特別支援教育の推進を図ってまいります。</p>

- 5 評価結果
「評価書」（別途公表）記載のとおり